



## カジノ反対の市長誕生をめざすつどい

3月30日に「カジノ反対の市長誕生をめざすつどい」がおこなわれ、市民など約120名が参加しました。

このつどいを主催した「カジノ反対の市長を誕生させる横浜市民の会」は、住民投票条例制定の運動の力を市長選挙につなげるべく発足されました。

同会の世話人の一人である、岡田弁護士はこれまでの運動をふまえて、「今回の市長選はカジノ反対と、住民自治・民主主義を取り戻す闘い」だと選挙の意義を強調しました。そして、この会はその市長選につなげる運動を担う組織だとし、選挙本番の確認団体ではないことが説明されました。そのうえで際の選挙は、これら市民運動とともに野党共闘が必要不可欠であるとし、「各野党の協力得て勝利しよう」と訴えました。

つどいには、立件民主党、国民民主党、日本共産党、社会民主党、神奈川ネット、緑の党の6党の代表も参加し、それぞれから連帯のあいさつがされました。立件民主党の阿部知子衆院議員からは「カジノは党として一貫して反対し、国会でも論陣を張ってきた。引き続きみなさんとつくりあげていきたい」とし「みなさんから共感を得られる候補者を擁立したい」との決意が述べられました。他の政党代表からもカジノ反対と、住民自治と民主主義を反故にする林市政の問題が語られ、市長選挙に向けた決意表明がされました。

また、同会の世話人には、横浜ハーバーリゾート協会の水上さんも加わるなど、運動の広がりをみせています。

